



10月うぶやま天文台星空情報 5

肉眼彗星となるか 紫金山・アトラス彗星



天空が広がるうぶやまの高原は爽やかな秋風が吹いています。

10月に入り、秋らしい天気になり、産山では朝夕 15℃以下の過ごしやすい季節です。夜空はすっかり秋の星空になり、秋の夜長、絶好のスターウォッチングシーズンの到来です。

さて、2023 年 1 月に中国の紫金山(ツチンシャン)天文台、2 月に小惑星地球最終警報システム ATLAS(アトラス)が相次いで発見した紫金山・アトラス彗星(C/2023A3)が地球に近づいています。

この彗星は軌道計算により、数十年ぶりに 0 等星まで明るくなり、肉眼彗星になると予想されています。9 月の下旬には太陽に最接近し、早朝、日の出前 45 分位に、東の高度約 5 度以下の非常に低い位置に、約 3 等級で見えています。東に開けた場所で双眼鏡などを使って見るとよいでしょう。

太陽に最接近した後、10 月中旬には地球に接近すると、夕方太陽が沈んだ西の低空で見えるようになります。

12 日に地球に最接近し、その時の光度は最大で 0 等級と予想されています。その光度であればこと座の 1 等星ベガくらいの明るさになるので十分肉眼で観察出来ると思いますが、彗星は恒星と違うので少し淡く見えるかもしれません。しかし、尾が付いて見えるので、恒星との違いは容易に見つけられるでしょう。現在、彗星はろくぶんぎ座付近にあり、この後しし座へと進み、10 月になると次第にしし座、へび座、へびつかい座へと移っていきます。最接近の 12 日は明るい金星(−4 等級)の近くを通過します。肉眼でも見えますが彗星は大変淡いので、双眼鏡があると見つけやすいでしょう。周期彗星ではないので、再び帰ってくることはありません。一期一会を楽しみましょう。順調に増光すれば 11 月ころまでは楽しめると思います。

全世界の人々が、この彗星を眺めて心を癒す清涼剤になってくれればいいなと思います。



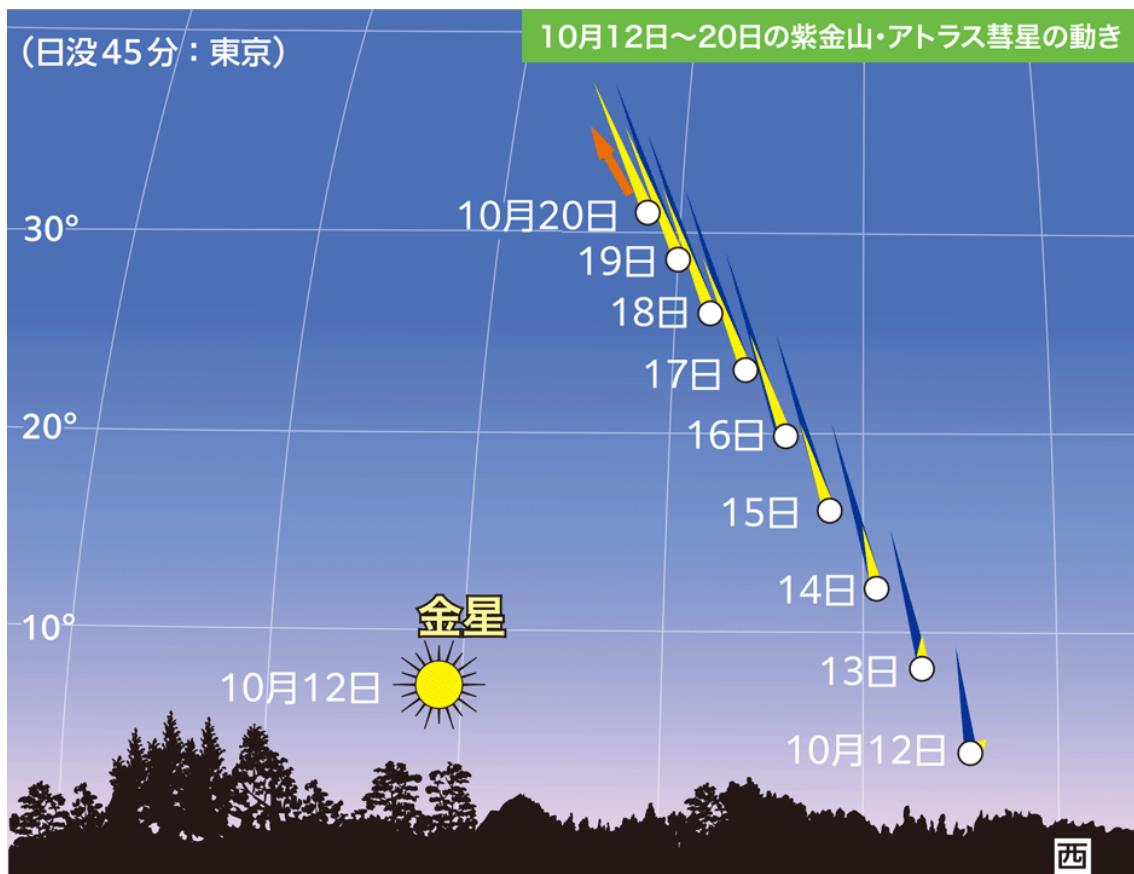
(C/2023.A3)

【9月末の紫金山・アトラス彗星の位置】



期間(おおよそ)	オスメ度	時間帯	方角	
9月下旬~10月上旬	◎	明け方	東低空	
9月28日	◎	明け方	東低空	太陽に最も近い<近日点>
10月7日~11日	×	—	—	地球から見ると太陽の方角にある
10月12日	◎	日没後	西低空	地球に最も近い<近地点>
10月12日~18日	◎	日没後	西低空	
10月19日~28日	○	日没後	西	

9 月下旬~10 月の紫金山・アトラス彗星の位置情報



一番観測しやすい10月中旬の砂金山・アトラス彗星の位置

